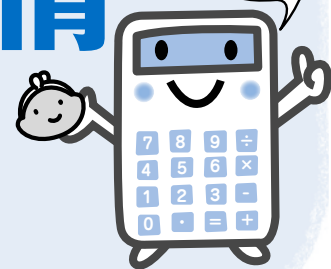


解説します！ / さっぽろのお財布事情

ぼくと一緒に見ていこう！



市では、市民の皆さんが納めた税金がどのように使われているのかをお伝えするため、予算の執行状況や決算を毎年公表しています。このページでは、市の財政状況や平成26年度の決算の概要をお知らせします。

[\[詳細\]](#) 企画調査課 ☎211-2216

市の財政はどうなっているの？

財政は健全ですが油断はできません

自治体の財政状況が良好かどうかを示す「健全化判断比率」は良好な水準を維持しています。しかし、市税など自力で得る収入が少なく、お金の使い道の自由度が低くなっています。

〈健全化判断比率〉

指標	内容	札幌市	早期健全化基準※
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	11.25%
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合	赤字なし	16.25%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	5.9%	25%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合	72.1%	400%

※この基準を上回ると財政健全化に向けた取り組みが必要になります。

財政力指数 0.701

標準的な行政サービスを行うためのお金を、自治体自らが賄える割合

政令市
20都市中
19位
政令市平均
0.854

経常収支比率 94%

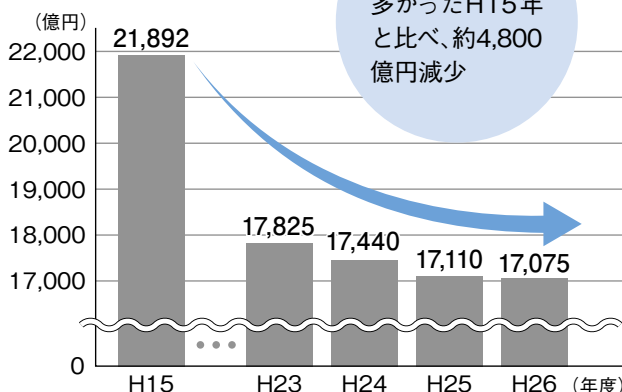
市税などの定期的に入る財源が、市債の返済などの義務的な経費に充てられる割合

政令市
20都市中
6位
政令市平均
95.8%

市債残高は11年連続で減少

市債とは市の借金のことをいいます。一般・特別・企業の各会計の市債残高の合計は、平成25年度末と比べて35億円少なくなりました。

〈市債残高の推移〉



今後も必要な歳出が増加する見込み

働く世代の人口が減るため、市税などの収入の大幅な増加は期待できません。一方で、医療や福祉に掛かるお金や公共施設の老朽化に伴う更新費用が増えていく見込みです。

将来に向けて、お金の使い方や集め方の見直しを進めていきます

支出を節約

事務を効率化するとともに、適正な職員配置などにより経費の見直しを進めます。

財産の有効活用

今後使う見込みのない市有地の売却など、市有財産の有効活用を推進します。

サービス料の見直し

サービスの提供に掛かるコストに見合った利用者負担のバランスを検討します。

バランスのとれた財政運営

お金を掛けるべき施策を見極め、将来への負担を考慮した財政運営を行います。

平成26年度決算の状況

※各項目・区分ごとに四捨五入しているため、合計などが一致しないところがあります。

昨年度のお金の使われ方を会計ごとにみていこう！



一般会計

福祉や教育など、市の基本的な事業の会計

歳入では、市税が予算額より増え、歳出では除雪費が予想よりも少なかったことなどから、歳入から歳出を差し引いた収支は、84億円の黒字になりました。

歳入総額 **8,911億円**
前年度比394億円増(4.6%増)

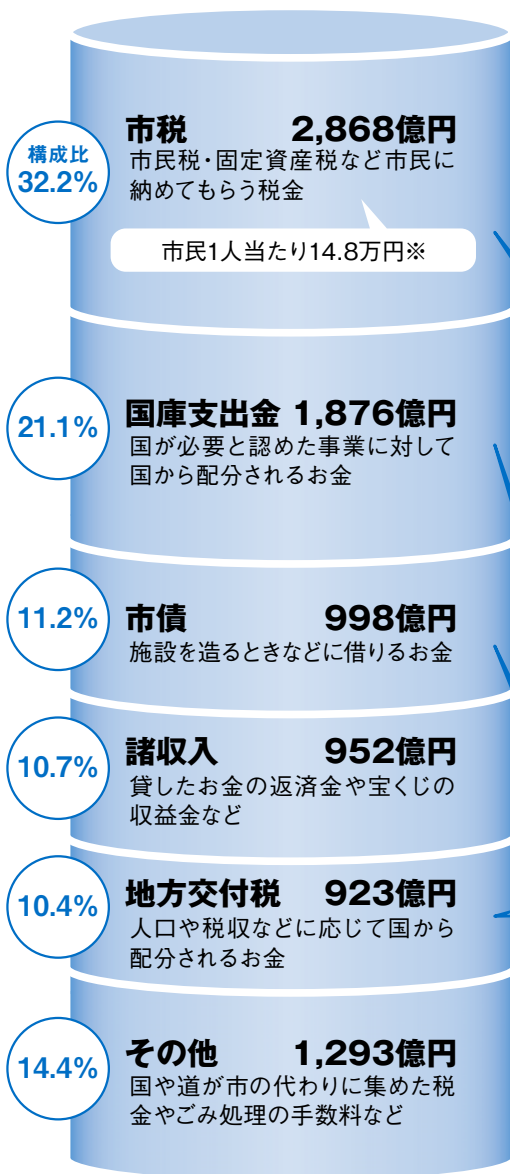
歳入から歳出を差し引いた84億円のうち、61億円を27年度に繰り越し、23億円を貯金しました。

市民1人当たり
掛かったサービスの
額は45.4万円※

歳出総額 **8,827億円**
前年度比407億円増(4.8%増)

貯金 23億円

繰り越し 61億円



25年度決算との比較

個人の所得や企業の業績が改善したことなどで、市税収入が72億円増えました。

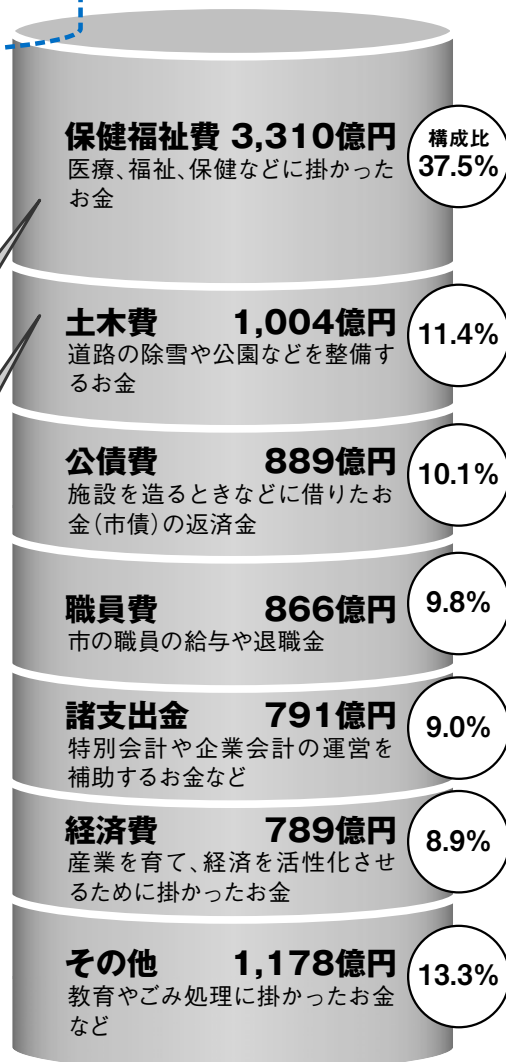
障害者自立支援費などで156億円増えました。

街路事業費や動物園費などで88億円増えました。

臨時福祉給付金が増えたことで34億円増加しました。

市民交流プラザの建設や臨時財政対策債の増加などで170億円増えました。

市税収入が増えたことなどで40億円減少しました。

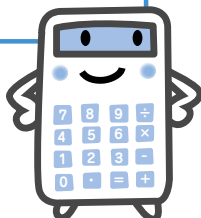


※27年4月1日現在の人口(国勢調査ベース)を基に算出。

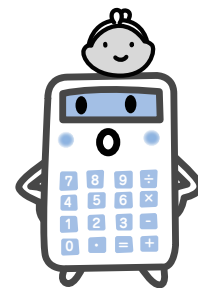
特別会計

一般会計とは別に経理を行う会計

8つある特別会計は、いずれも赤字はありませんでした。



区 分	歳 入	歳 出	差 引 ぎ
土地区画整理	24.0億円	24.0億円	0円
駐車場	4.7億円	4.0億円	0.7億円
母子父子寡婦福祉資金貸付	2.6億円	1.3億円	1.3億円
国民健康保険	2,055.7億円	2,040.0億円	15.7億円
後期高齢者医療	228.3億円	220.4億円	8.0億円
介護保険	1,212.9億円	1,212.6億円	0.3億円
基金	17.9億円	17.4億円	0.5億円
公債	4,101.6億円	4,101.6億円	0円



企業会計

民間企業のように利用料金などの収益で運営する事業の会計

26年度の営業成績を示す収益的収支は、地下鉄、水道、下水道では黒字になりましたが、市立札幌病院、中央卸売市場、路面電車では赤字になりました。



市立札幌病院

【主な実施内容】 災害を想定した電気設備の更新工事

収益的収支 収入 217億円 - 支出 278億円 = -61億円

資金の状況 26億円の資金残 赤字の累計額 74億円



中央卸売市場

【主な実施内容】 車両事故などを防止するため、監視カメラを更新、増設

収益的収支 収入 24億円 - 支出 30億円 = -6億円

資金の状況 11億円の資金残 赤字の累計額 36億円



路面電車

【主な実施内容】 ループ化に向けた設備工事や老朽化した設備の更新

収益的収支 収入 15億円 - 支出 22億円 = -7億円

資金の状況 8億円の資金残 赤字の累計額 2億円



地下鉄

【主な実施内容】 東豊線車両の更新や南北線南平岸駅の耐震改修工事

収益的収支 収入 484億円 - 支出 476億円 = 8億円

資金の状況 0.2億円の資金残 赤字の累計額 2,548億円



水道

【主な実施内容】 施設、水道管路の更新や耐震化

収益的収支 収入 526億円 - 支出 344億円 = 181億円

資金の状況 150億円の資金残 ※水道施設更新積立金96億円を含む



下水道

【主な実施内容】 水質の改善や災害対策、老朽化した施設の改築

収益的収支 収入 537億円 - 支出 534億円 = 3億円

資金の状況 69億円の資金残

※平成26年度から企業会計の会計制度が変更になっていますが、企業会計の経営状況は大きく変わっていません。

資産

基金

特定の事業を行ったり、財源が不足したりするときに使う市の貯金

残高 3,055億円

財政調整基金175億円など21基金

財産

■公有財産

土地/5,488万㎡ 建物/延べ面積568万㎡
有価証券/15億円 出資による権利/159億円

■物品(100万円以上のもの)/4,810点

■債権(民間への貸付金など)/41億円

※平成27年3月末現在

平成27年度予算の執行状況

※平成27年9月末現在。各会計ごとに四捨五入しているため、総計は一致しません。

〈一般会計〉

歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
9,185億円	40.1%	38.1%

〈特別会計〉

区分	歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
国民健康保険	2,305億円	37.1%	42.1%
介護保険	1,320億円	37.9%	39.6%
その他	299億円	32.9%	28.4%

〈企業会計〉

区分	収入予算額	予算執行率	支出予算額	支出執行率
市立札幌病院	237億円	42.6%	237億円	47.0%
中央卸売市場	24億円	40.4%	27億円	20.3%
路面電車	15億円	40.2%	17億円	25.1%
地下鉄	485億円	47.1%	422億円	23.1%
水道	454億円	47.4%	361億円	34.9%
下水道	534億円	37.6%	499億円	16.4%

〈市債残高〉

区分	市債残高
一般会計	9,846億円
特別会計	23億円
企業会計	6,977億円
総計	16,845億円

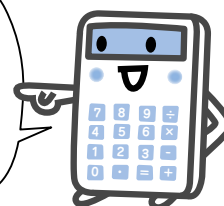
〈一時借入金残高〉

企業会計(病院) 5億円

〈基金残高〉

3,028億円

本年度
4月から9月
までの主な
お金の動きだよ



市の財政の詳細は、ホームページでもご覧になれます

札幌市の財政

検索